

事務事業名	下水道長寿命化対策事業	事業期間	～ 2023 年度	係内番号	02
担当部署	都市建設部	水道課	下水道整備係	連絡先	655

政策番号	05	基本計画①	01	都市計画マスタープラン	0302	下水道の整備方針	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高						
		基本計画②	01	都市計画マスタープラン	0302	下水道の整備方針								
		実行計画	12	下水道中期ビジョン（下水道事業特別会計）	0000	複数の柱にまたがる事業								
		項目	計画CD	計画名称	施策の柱ID	施策の柱の名称								
予 算 事 業 名	下水道長寿命化対策事業				会計コード	22	款	01	項	01	目	02	事業	30
事務事業の概要	施設の老朽化が発生し、道路陥没等の事故が発生した箇所があり、事故の未然防止や限られた財源の中でライフサイクルコストの最小化を図るため、「下水道長寿命化支援制度」が国の事業として創設されています。当該事業は、下水道施設の健全度に関する点検・調査結果に基づき「下水道長寿命化計画」を策定し、管路施設の延命化や耐震化及び事故の未然防止を図るために、管渠更生工事とマンホール鉄蓋交換工事を計画的に実施するものです。また、地震対策工事として、既設管路の耐震化を計画的に実施するものです。													
現状と背景	整備から30年を超えた管路施設が老朽化しつつあり、施設の延命化を図る必要があります。国の支援制度を活用し、下水道施設の点検・調査を行い、下水道長寿命化計画を策定し、管路施設の計画的な改築を進めるものです。地震対策工事については、東海沖地震強化地域に指定されており、震度6強の地震が想定されています。重要な下水道施設の耐震化を図る「防災」、被害の最小化を図る「減災」を組み合わせた総合的な地震対策推進をする必要があります。													
目的	受益者	下水道計画区域内の市民												
	対象	老朽化した下水道管の延命を図る。 下水道管の耐震化を図る。												
	意図	下水道施設の延命化を図るため、老朽化した下水道施設の調査・点検結果を基に、長寿命化計画を策定し、計画的な改築・更新を行い、下水道施設の健全化を図る。また、事故の未然防止及び限られた下水道事業財源の中でのライフサイクルコストの最小化を図る。												
手段・方法	管渠調査、長寿命化計画策定、管渠更生工事、管渠布設替工事、管渠修繕工事、マンホール蓋交換工事を実施。管口の可とう化工事、マンホール浮上対策工事、管渠更生工事を実施。													
評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値								
		1	スムーズな事業の実施	年間事業実施率	%	年間実施箇所／当初予定箇所	100							
		2												
		3												
	変更履歴													
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値								
		1	管渠の更新	管渠の更新延長	km	管渠の累積更新延長	16							
		2	下水道施設の耐震	管渠の耐震化延長	km	管渠の累積耐震化延長	17							
		変更履歴												

実 施 状 況	財源内訳	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
		事業費等(a)	円	60,064,139	177,429,000					
		国庫支出金	円	6,600,000	34,800,000					
		県支出金	円							
		地方債	円	6,219,720	33,120,000					
	活動指標	年間事業実施率	目標	%	100	100				
			実績	%	80					
		-	目標	%	80.00	-	-	-	-	
			実績	%	-	-	-	-	-	
		-	目標	%	-	-	-	-	-	
			実績	%	-	-	-	-	-	
		成果指標	管渠の更新延長	目標	km	16	16			
				実績	km	1				
			管渠の耐震化延長	目標	%	3.32	-	-	-	-
				実績	%	17	17			
-	目標	km	17	17						
	実績	km	1							
-	目標	%	3.18	-	-	-	-			
	実績	%	-	-	-	-	-			
備考										

事務事業名	下水道長寿命化対策事業	事業期間	~ 2023 年度	係内番号	02
担当部署	都市建設部	水道課	下水道整備係	連絡先	655

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中 評 価	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化				
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)				
	翌年度方向性				
	成果				
	コスト				
	課長評価日				

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事後 評 価 (C H E C K)	<p>～成果要因分析</p> <p>管口の可とう化工事は、これまで茅野市で実績のなかった新たな工法であった。そのため、今年度は、小規模発注としたが、5カ年計画の実現に向け来年度は達成率を大幅に伸ばしていく。</p>				
	<p>成果</p> <p>更新工事のマンホール鉄蓋の交換工事について、N=26個の実施。緊急路線内の既設マンホールの管口対策工について、N=19箇所の実施。</p>				
	<p>課題</p> <p>長寿化計画と地震対策計画で2つの計画を一元管理し、両者の実施効果が効率的に発揮できるよう、優先順位を考え発注していく必要がある。</p>				
改革・改善の方向性(AC T)	<p>翌年度方向性</p> <p>成果 拡充</p> <p>コスト 拡大</p>				
	<p>改革の方向性の内容</p> <p>昨年度計画した、長寿化計画(ストックマネジメント)の実施は、31年度から工事発注をしていく。幹線路線の工事となるため、流量が多い路線であり水替え等の仮設計画もコストに大きく影響する。内容を十分検討し、設計及び発注する必要がある。</p>				

作成担当者	加藤 利紗				
最終評価責任者	柳沢 昭弘				
最終評価年月日	2019年5月17日				

事務事業名	下水道事業会計繰出金事務	事業期間	～	年度	係内番号	01
担当部署	都市建設部	都市計画課	都市計画係	連絡先	532	

政策番号	05	基本計画①	01	都市計画マスタープラン	0000	複数の柱にまたがる事業	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高						
		基本計画②	01	都市計画マスタープラン	0302	下水道の整備方針								
		実行計画	12	下水道中期ビジョン（下水道事業特別会計）	0000	複数の柱にまたがる事業								
		項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称								
予 算 事 業 名	下水道事業会計繰出金				会計コード	01	款	08	項	03	目	01	事業	03
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	諏訪湖流域関連茅野市公共下水道事業として全市下水道化に向けて整備を進め、平成29年度末で、2,580.4haが整備され供用されている。また、雨水浸水対策事業として上川右岸排水区管渠の整備を行っている。これらの事業費のうち、下水道事業会計において、一般会計が負担すべき経費を総務省の地方公営企業繰出基準に基づき当該繰出金を計上している。（平成30年度下水道事業予算：約38億5,000万円）													
現状と背景 (どうして)	生活環境の改善と河川や湖の水質保全を図る目的で、昭和46年3市1町を区域として諏訪湖流域下水道計画が決定され、現在、3市3町1村に全体計画区域を拡大している。茅野市においては、市街地の整備をほぼ終了し、今後は蓼科地区の下水道整備と、雨水浸水対策事業として上川右岸排水区管渠整備事業を早急に進める必要がある。													
目的	受益者 (誰のために)	下水道区域内の住民												
	対象 (直接働きかける)	下水道区域内から排出される廃水												
	意 図 (どんな状態にしたいか)	諏訪湖に代表される公共用水域の水質保全、快適な生活環境の実現												
手段・方法 (どうやって)	構成市町村から排出される汚水は、県が管理する豊田処理場に集約され、効率かつ高度な処理を行っています。そのため、総務省の地方公営企業繰出基準に基づき、当該繰出金を予算計上し、下水道事業会計へ適切に繰出しを行う。													
評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値					
		1	適切な繰出金	基準内繰出金	%	当該年度分繰出金/基準に基づく繰出金			100					
		2												
		3												
	変更履歴													
	成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など			最終目標値					
		1	基準外繰出金ゼロ	非基準外繰出金率	%	(1-基準外繰出金/繰出金総額) × 100			100					
		2												
		変更履歴												

実 施 状 況 (D O 備 考)	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	事業費等(a)	円	720,000,000	755,000,000				
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	720,000,000	755,000,000				
	活動指標	基準内繰出金	目標	100	100			
			実績	100				
		達成率	%	100.00	-	-	-	-
		-	目標	-				
			実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-	-
	成果指標	非基準外繰出金率	目標	100	100			
実績			100					
達成率		%	100.00	-	-	-	-	
-		目標	-					
		実績	-					
達成率		%	-	-	-	-	-	

事務事業名	下水道事業会計繰出金事務	事業期間	~	年度	係内番号	01
担当部署	都市建設部	都市計画課	都市計画係	連絡先	532	

中 評 価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果 コスト				
課長評価日						

事 後 評 価 (C H E C K)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	～成果変異動指標要因分析	総務省の地方公営企業繰出基準内において、当該繰出金を支出することができている。				
	総合評価	下水道未普及区域の整備や整備済区域内の解消、公衆衛生の向上、水環境の保全等に貢献し快適な暮らしの実現と持続に取り組んでいる。 安心して安全な暮らしの実現に向けて、より一層、下水道施設等の耐震化や老朽化対策を進める必要がある。				
	改革・改善の方向性(ACIT)の内容及び内容	茅野市下水道中期ビジョンに基づき事業が展開されているが、下水道経営の効率化・健全化のため、収入と支出の適正化を図りながら、繰出金に頼らない経営基盤の強化をしていくことが重要である。 諏訪湖流域下水道維持管理負担金の見直しによる増額、また、雨水浸水対策事業(～2020年度)の実施によりコストは拡大することになる。				
改革・改善の方向性(ACIT)の内容及び内容	翌年度方向性	成果 コスト	拡充 拡大			

作成担当者	黒澤 俊彦				
最終評価責任者	岩崎 研二				
最終評価年月日	2019.5.17				